

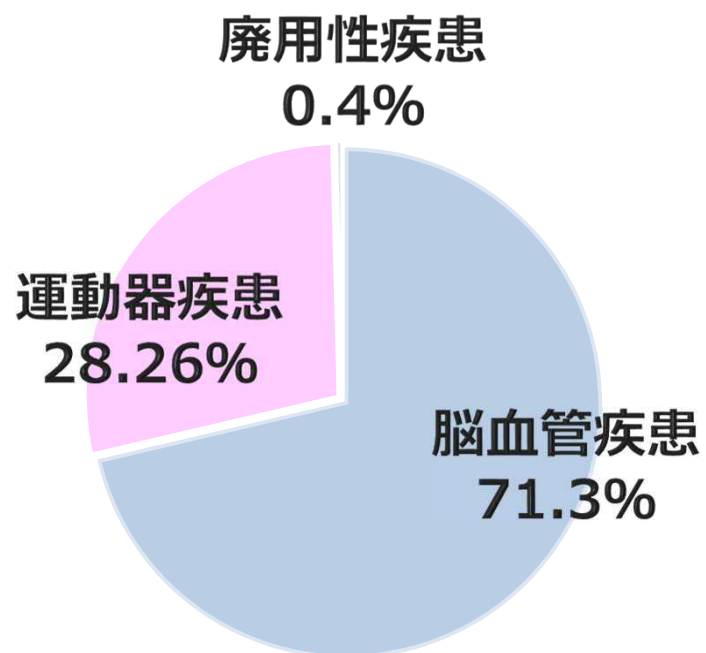
2019年度実績

回復期リハビリテーション病棟

2019年9月1日より回復期リハビリテーション42床から60床へ増床

7～9月

疾患割合



入院期間

平均入院期間
80.48日

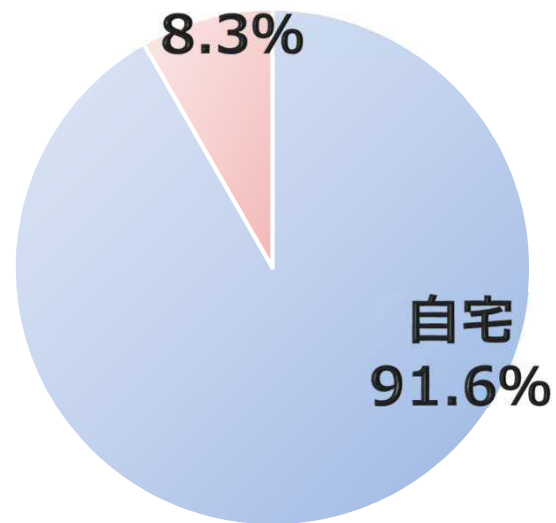


脳血管疾患	105日
運動器疾患	68.0日
廃用性疾患	30日

- ◆ 2019年7-9月は脳血管疾患患者71.3% 運動器疾患28.26% 廃用性0.4%
- ◆ 平均入院期間は全体で64.54日、脳血管は105日 運動器は58.55日 廃用性30日

在宅復帰

その他の医療機関等



リハビリ

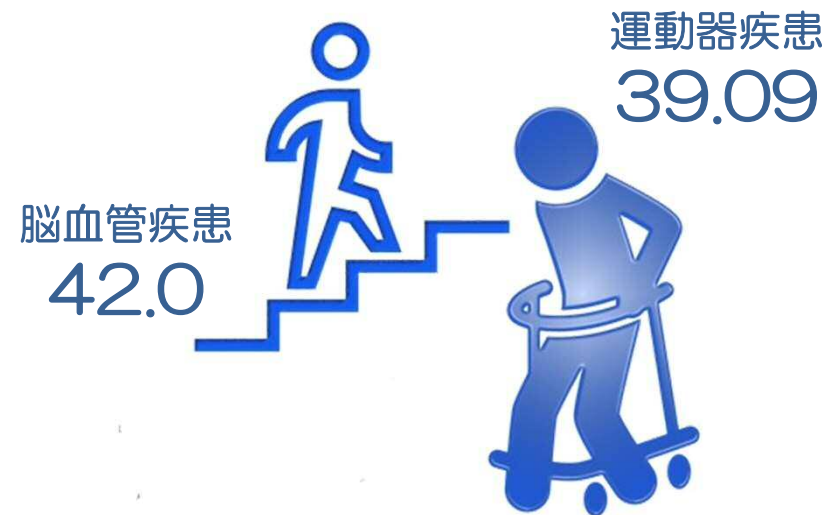


- ◆ 在宅復帰率は91.6%で、次いでその他の病院への転院とつづく
- ◆ リハビリは365日実施、平均6.76単位（約2時間15分）実施

FIM利得



アウトカム



基準値：37.0

アウトカム指数：41.4

◆ FIM利得（退院までに改善したFIM運動項目の得点）

脳血管疾患は29.5、高次脳機能患者23.4、運動器疾患は29.53

◆ アウトカム評価

（FIM利得をベースに計算され、「37以上」が回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰの要件となる）

脳血管疾患は36.41、高次脳機能患者対象47.59、運動器疾患39.09であり、全体で41.4と基準値（37.0）をクリア